



2024年9月3日

各位

会社名 ポート株式会社
代表者名 代表取締役社長 CEO 春日博文
(コード番号: 7047 東証グロース・福証 Q-Board)
問い合わせ先 常務執行役員 辻本拓
財務 IR 部長

TEL. 03-5937-6466

投資家Q&A 2024年8月

2024年8月に機関投資家様・個人投資家様より頂戴した主なご質問とその回答についてレポートいたします。

本開示は投資家様への情報発信の強化とフェアディスクロージャーの観点より、毎月第2営業日に開示を予定しております。また、理解促進のために一部内容の加筆修正を行っております。

#全体業績

Q. 今期（2025年3月期）第1四半期業績の会社計画に対する評価を教えてください。

A. 今期第1四半期においては、既に発生しているみん就株式会社取得に伴う連結開始、ネットビジョンアカデミー事業及び株式会社ドアーズの売却影響までを織り込んだ通期業績計画に対し、売上収益、EBITDAともに会社計画を上回る高い業績成長を実現できたと評価しております。

特に、事業特性から下期偏重であるEBITDAに関しては、会社通年計画に対し進捗率31.6%と非常に良好なスタートを切ることができました。

人材領域において高い成長を継続する人材紹介事業においては、キャリアアドバイザーの増員や就職活動の早期化等の影響もあり、成約件数がYoY+91%増加し、売上収益はYoY+96%増収となりました。また、良好な外部環境に加え、市場における当社プレゼンスの向上も相まって、引き続き成約単価の上昇も持続しております。

エネルギー領域においては、JEPX市場価格が安定的に推移し、各電力事業者の新規顧客獲得需要が増加している良好な外部環境の中で、総成約件数の拡大が進み、計画以上の将来収益の積み上げを行いながらも売上収益はYoY+85%増収となりました。また、ロールアップ型M&Aによるシナジー効果の寄与に加え、着実なストック収益の拡大もエネルギー領域における継続成長へと繋がっております。

Q. 今期第2四半期以降の見通しを教えてください。

A. 今期第2四半期以降においても売上収益YoY+30%以上の成長の継続を見込んでおり、人

材・エネルギー領域ともに堅調な推移の見通しです。

人材領域においては、引き続き求人企業の採用意欲が底堅く推移する中で、6月に新たに配属したキャリアアドバイザー約30名の増加に加え、生産性向上施策の実施や教育体制の強化により早期の戦力化を実現し、売上に寄与してくるものと見込んでおります。一方で今期第1四半期でYoY+91%と大きく増加した人材紹介事業の成約件数については、就職活動の早期化影響による上乗せ分が含まれている可能性を考慮すると、今期第2四半期においては、YoY、QoQともに第1四半期の高い成長率よりは落ち着いた増加幅になる見込みです。

エネルギー領域においては、現在進行期の第2四半期の電力事業者の新規顧客獲得需要は更に高まっており、大手取引先複数社との電力成約単価の上昇が確定しております。成約単価の上昇により、1ユーザーあたりの売上高が拡大しますので、シェア拡大の好機としてマーケティング投資を更に積極化しております。そのため、成約単価が改善することのポジティブな影響と計画以上の将来収益の積み上げから創出されるストック収益の拡大により、例年の季節性による増減とは異なり、QoQでの増収増益が見込まれる状況となります。

(詳細は2024年8月29日公表の「[エネルギー領域の成約単価状況について](#)」をご確認ください。)

一方で、EBITDAにおいては、前期第2四半期にポートエンジニアリング社の株式売却益186百万円が計上されていることもあり、今期第2四半期の前年度対比でのEBITDA成長率は鈍化しているように見受けられる可能性がございますが、既存事業が牽引する高い成長率は引き続き継続する見込みです。

人材領域

Q. 人材領域の今期第1四半期の事業利益率がYoY、QoQともに下がっている要因を教えてください。

A. 事業利益率が低下した主な要因は売上構成比率の変化によるもので、当社想定通りの水準で推移しております。

人材領域の今期第1四半期の事業利益は、四半期過去最高の859百万円(YoY+53%)を達成しておりますが、高い成長の要因として、成長率の高い人材紹介事業の売上構成比率が増加していること、及び既存の人材領域の事業利益率よりも利益率が相対的に低いみんな就の連結がある一方で、売上構成比の変化により、全体の事業利益率は変化しました。

アライアンス事業及び人材紹介事業から成る人材領域において、人材紹介事業については、キャリアアドバイザー等の成約支援人材が関与するサービスであるため、アライアンス事業に比して、利益率は低くなる傾向があります。

Q. 今期第1四半期において、キャリアアドバイザーは何名在籍しているのでしょうか。また、来期に向けたキャリアアドバイザーの採用計画を教えてください。

A. 前期第1四半期から約50%増員し、今期第1四半期においては約110名のキャリアアドバイザーが在籍しております。

2025年卒(2025年4月入社予定)の新卒採用については、約130名を計画しており、その半数弱程度をキャリアアドバイザーに配属予定です。当社の新卒採用における採用倍率は年々上昇しており、採用数及び質の両面において順調に進捗しております。

#エネルギー領域

Q. エネルギー領域の総成約件数が今期第1四半期において YoY で大きく増加した要因を教えてください。一方で、QoQ では下がっている要因についても教えてください。

A. 今期第1四半期で総成約件数が YoY で大きく増加した要因は、各電力事業者の新規顧客獲得需要の増加や電力以外の付帯商品の成約が増加したためです。

また、QoQ での減少要因については季節性によるものです。

当社のエネルギー領域においては、主にユーザーの引越しを契機に電力の新規契約の成約支援を行っております。エネルギー領域の季節性は、2月、3月が最大の需要期で、4月も一部需要期であることから、第4四半期が最も業績が拡大し、その次に4月が含まれる第1四半期が大きくなります。第2、第3四半期は同水準で、第1四半期に比べると需要・業績は小さくなります。

#株主優待

Q. 株主優待実施の背景や、実施に伴う想定コストを教えてください。

A. 当社業績が順調に拡大している中で、8月上旬に株式市場影響で当社株価が大きく調整し、当社が考える適正株価を大きく下回っている状況となっております。

当社状況や株式市場状況により、株価評価は変動するものと認識しておりますが、ある程度適正な範囲での株価評価を維持していくことは中長期に当社株式を保有していただくためにも重要だと考え、一定レンジ以上の変動に対しては、株価対策の実施も必要であると考えております。

そのような状況の中で、自己株取得を含む様々な株価対策について検討を行ったうえで、株主優待の実施が現在の株価動向や流動性を鑑み、最も直接的に株主様への還元につながり、かつ株価対策として有効であると考えたためです。

実施に伴う想定コストは1億円程度を見込んでおります。期初の会社計画には織り込んでいない費用となりますが、今期第1四半期における会社計画を上回る営業利益実績で吸収できる規模感であると考えております。

会社概要

会社名 : ポート株式会社
代表者 : 代表取締役社長 CEO 春日博文
所在地 : 東京都新宿区北新宿 2-21-1 新宿フロントタワー5階
設立 : 2011年4月
資本金 : 2,399百万円(2024年6月末時点)
URL : <https://www.theport.jp/>

■本件に関するお問い合わせ

ポート株式会社 : IR担当
コーポレートサイト : <https://www.theport.jp/>
E-mail : ir@theport.jp TEL : 03-5937-6731

※当社ではリモートワーク制度を導入しております。
お電話が通じにくくなる場合がございますので、
お問い合わせはE-mailまでお願いできますと幸いです。